



大学の知を結集し
社会課題を解決する

会社概要

社名	株式会社グッドアイ
取締役会長	板橋 英之(群馬大学大学院理工学府教授)
代表取締役	樋口 慶郎
設立	2017年11月
資本金	2億4110万円(資本準備金含む)
事業領域	地球/自然/人間/生活関連商品の開発・販売 上記領域における事業支援・ビジネスコンサルティング
電話	0277-46-9277
Mail	info@gudi.co.jp
URL	https://GUDi.co.jp

◆ GUDシート

新型コロナウイルスを不活化する
光触媒銅繊維シート

◆ サンゴライト化粧水入浴剤

アトピー性皮膚炎の症状を改善する
入浴剤

◆ GUDアグリ

コメのカドミウム濃度を低減する
土壌改良材

◆ GUDブロック

CO₂の固定化が可能なウッドチップ
モルタルブロック

本社

サテライトオフィス

GUDI "ロック"

CO₂の固定化
保水性能
透水性能
曲げ強度
滑り抵抗
耐凍性能
調湿効果
衝撃吸収性能
除草効果
除菌効果
消臭効果

GUDI

GUDI

GUNMA, UNIVERSITY,
DEVELOPMENT & INNOVATION

株式会社グッドアイ

●本社
〒376-8515
群馬県桐生市天神町1-5-1
群馬大学桐生キャンパス

●サテライトオフィス
〒376-0031
群馬県桐生市本町6丁目384-1
アンカーヴィレッジ2F

TEL : 0277-46-9277 / FAX: 0277-46-9275
URL : <https://gudi.co.jp>



木材を粉砕したウッド
チップを体積比率で
50%含むモルタル
ブロック

木のゴミで世界を救う

群馬大学
理工学部 環境創生理工学科

板橋 英之 教授



「夢ナビ 板橋」で検索
YouTube で動画配信中



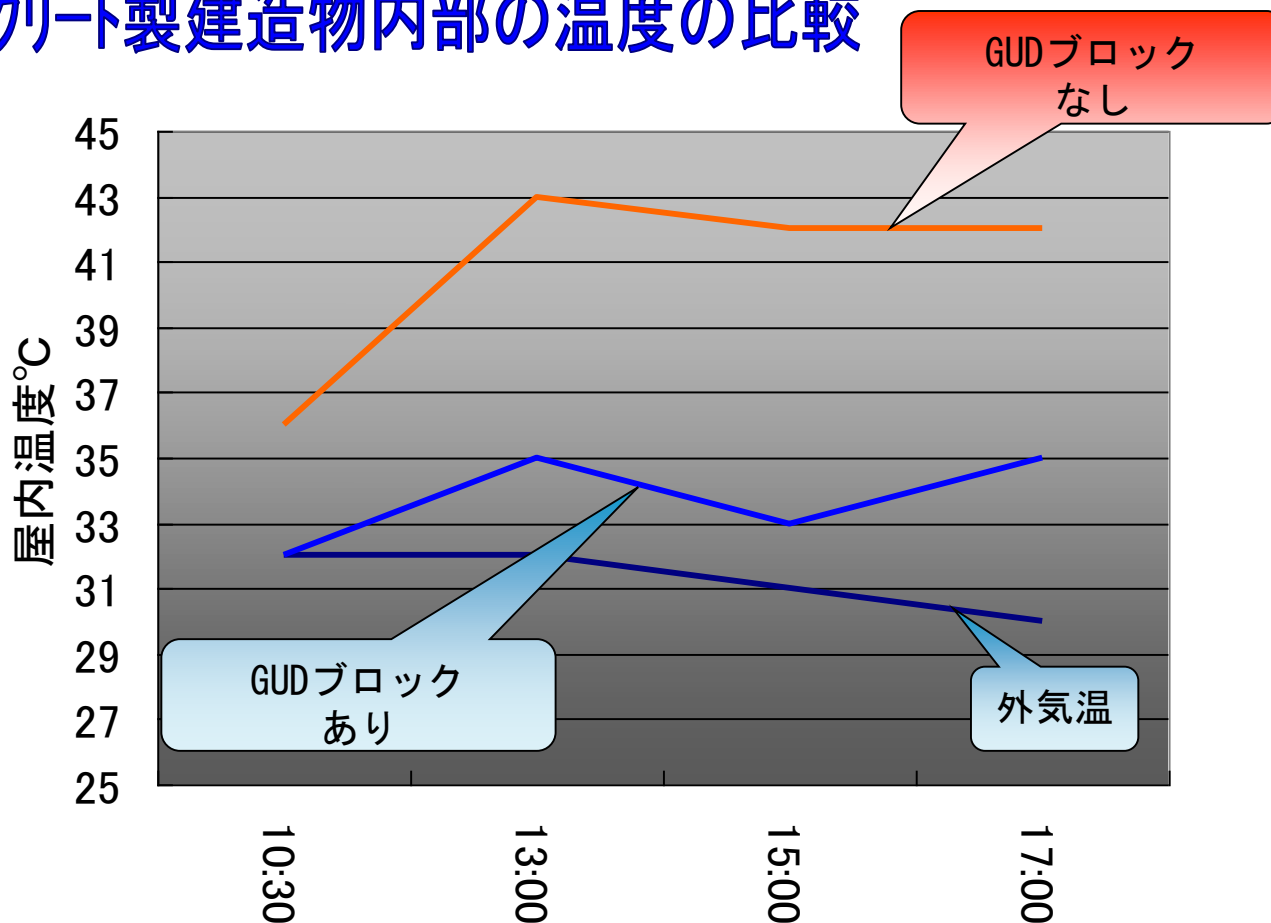


身近な温暖化対策

GUDブロックを天井に敷いた場合の冷却効果



コンクリート製建造物内部の温度の比較



	最小差	最大差	平均
表面温度	-6°C	-9°C	-8°C
内部温度	-4°C	-9°C	-7°C

散水前



散水後
30分



作製方法



間伐材



ウッドチップ

+ セメント

砂



ウッドチップモルタル
平板

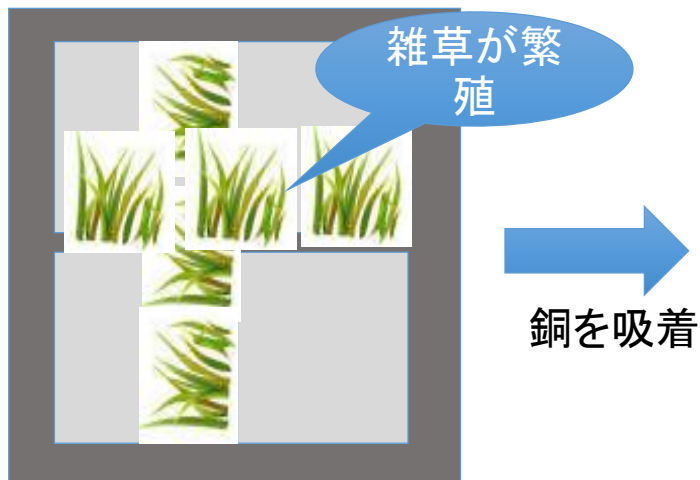
ウッドチップとモルタルの混合比を調節



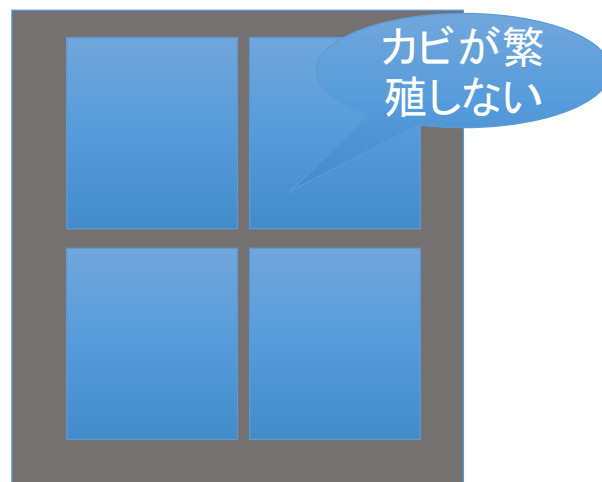
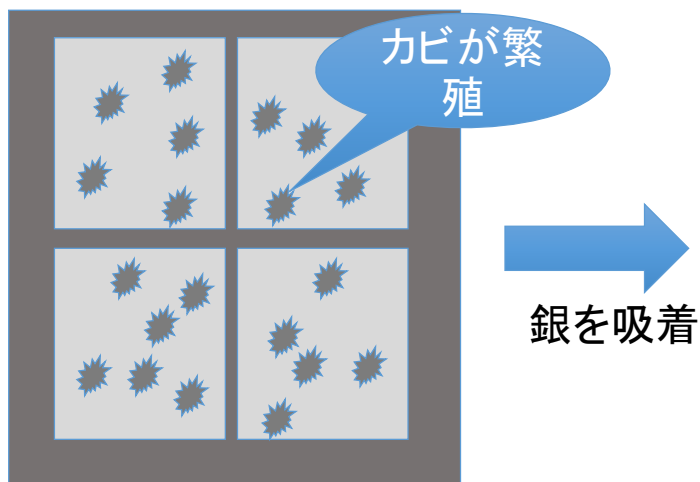
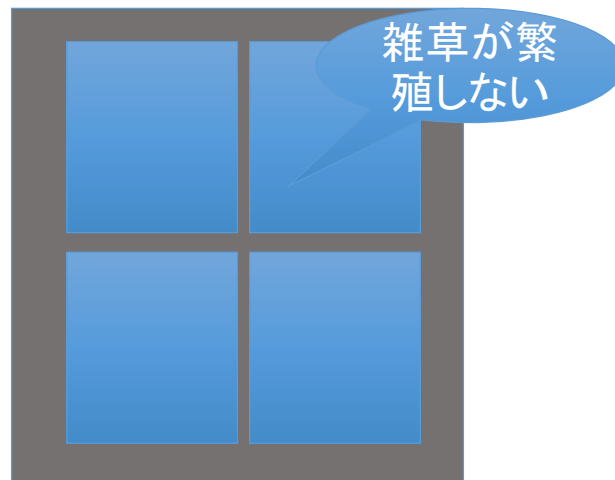
**ウッドチップが腐らない！
銅や銀などの重金属を極めてよく吸着！**

重金属を吸着させたモルタル平板

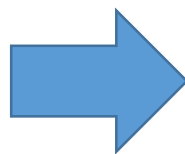
通常ブロック平板



本発明品



施工例



景観の維持に貢献、廃棄物系バイオマスの有効利用、二酸化炭素の固定化

一石三鳥の製品！



Woodchips Mortar Block

ウッドチップブロック (GUDブロック)

縦30cm × 横30cm × 厚さ6cm

1枚: 1500円 (希望小売価格・税抜き)

量産装置開発中 → 価格応談可



群馬県 霧積ダム・坂本ダム



前橋市 まちなか広場



群馬銀行 桐生支店



みどり市 恵愛同病院



桐生市 古民家レストラン



太田市 桐生信用金庫薮塚支店

株式会社 笠盛



群馬県桐生市:2018年4月施工

施工前

工場建屋の間の通路は、日当たりが悪く、雨が降ると水たまりができ、なかなか乾かず困っていた。

水たまり解消



施工後

「水たまりができなくなりました。すごい吸水性ですね」と笠原康利会長に喜んでいただきました。

桶の細道



群馬県みどり市:2017年7月施工

施工前

耐久年限が来て廃棄するしかなくなった仕込み桶の杉板を再活用した路地「桶の細道」。年月の経過とともに傷んできて雨が降ると水たまりができるようになった。

記念木材の活用



施工後

仕込み桶の杉板をチップ化してGUDブロックを製作し、わたらせ渓谷鉄道の枕木の両側に敷きました。「町の人みんなから喜ばれています」と「三方良しの会」の松崎会長に喜んでいただきました。

群大院理工学府が研究開発

間伐材ブロック敷設

道の駅に 地産地消でCO₂削減



設置したGUDブロックの有用性を解説する板橋教授

木材の有効活用につなげようと中之条町は、同町の道の駅「雲山たげやま」に同町で出た間伐材を利用したウッドチップブロック「GUDブロック」を350枚設置した。27日、同ブロックを研究開発した群馬大大学院理工学府の板橋英之教授らが、同所で記者会見し、ブロックの有用性を説明した。

木材の有効活用で

同ブロックは同大発のベンチャー企業、グッドアイ(桐生市)が開発。銅や銀の吸着により除草や殺菌、消臭の効果があるほか、保水性が高く道路の冠水を緩和するなどの効果もあるという。また、間伐材のウッドチップを50%含み、1枚当たり約千分の二酸化炭素(CO₂)の削減につながるという。

板橋教授は「今回は未利用バイオマスの地産地消モデルの第一歩。県内には多くの活用されていない木材があるので、これを機に各自治体に活動を広げたい」と話していた。町では今後、ほかの公共施設への設置も検討しているという。町農林課の担当者も「経済、環境の両面で、中之条町産の木材を町内で循環して活用できるようにしたい」と話していた。

(板井俊大)

石川...

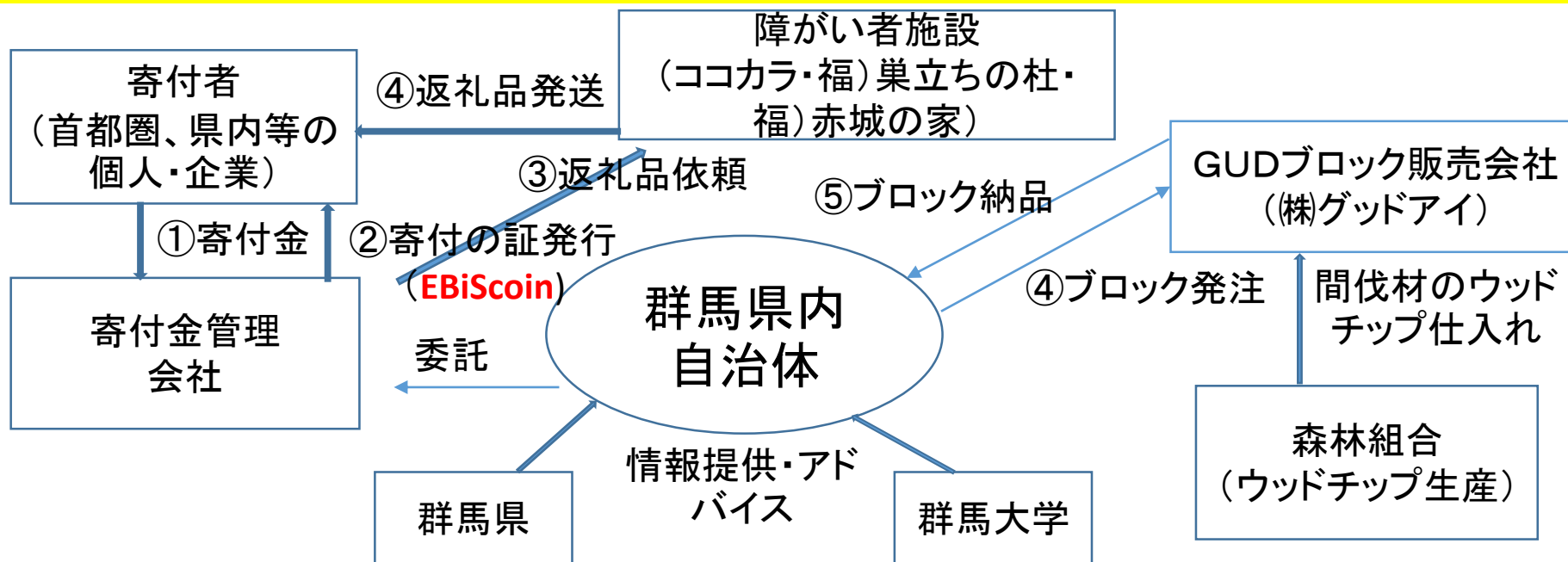
理工学大(前橋市鳥町)の石川恒夫(58)らが率いる研究チームの取り組み「ワークシヨップ」日本建築学会教育教育賞(奨励賞)を受賞。再は2007年に建築教育の発展

ブロック(30cm×30cm×6cm)1枚でCO₂2kg削減 500枚施工でCO₂1トン削減

未利用バイオマスの地産地消とCO₂削減モデル

【地域林業・山林の復活と二酸化炭素の固定化・削減、障がい者の雇用・経済支援を可能にする

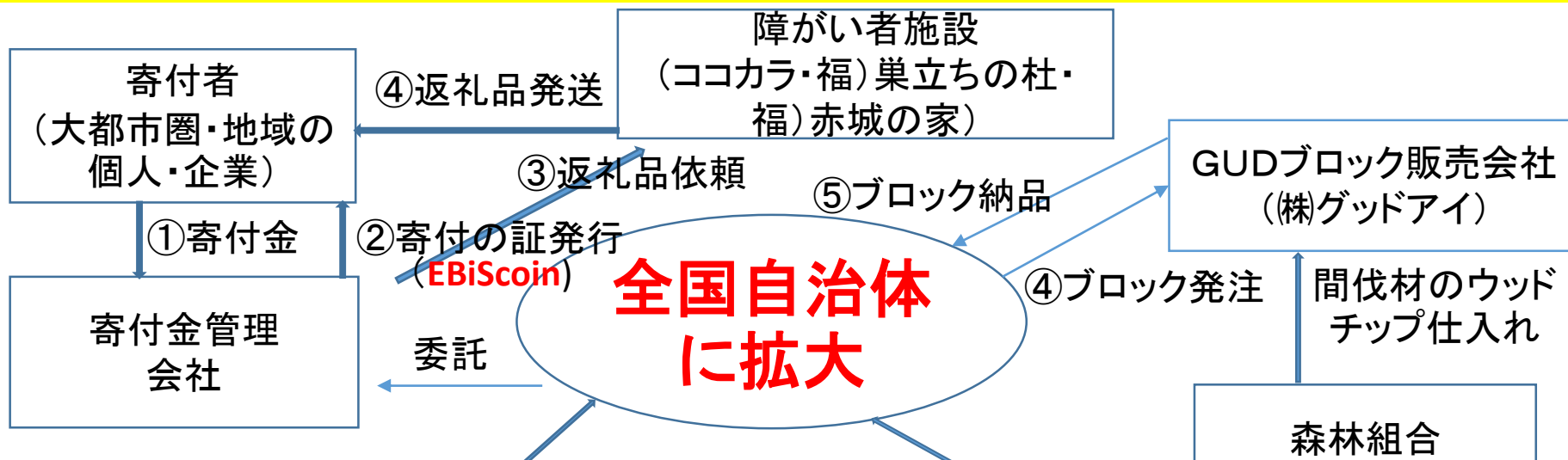
EBiSCoin (Earth & Bio Sustainability Conscious innovation) プロジェクト」



- ・間伐材ウッドチップを活用したインターロッキングブロック(GUDブロック)の公共施設設置による、森林整備・資源の有効活用及びCO2削減。
- ・財源を首都圏及び県内の住民及び企業の寄付により賄い、障がい者施設で生産した農産物等を寄付返礼品とする。
- ・群馬県は首都圏の水瓶であり、首都圏の資源(資金)を地方へ還流させ、地域全体で環境や福祉に貢献するEBiSCoinプロジェクトを地方創生のモデルとする。※EBiSCoin: Earth & Bio Sustainability Conscious Innovation (地球と地球上の全ての生命の持続可能性を意識した革新的手法)

【地域林業・山林の復活と二酸化炭素の固定化・削減、障がい者の雇用・経済支援を可能にする

EBiSCoin (Earth & Bio Sustainability Conscious innovation) プロジェクト」



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



と地球上の全ての生命の持続可能性を意識した革新的手法)

ご清聴有り難うございました。